



平成29年9月8日

第23回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

平成29年7月19日（水）に開催された、第23回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

技術管理課 課長 榊原 仁志 電話：0154-24-7147（内線3391）

技術管理課 課長補佐 芳賀 聡 電話：0154-24-7174（内線3465）

釧路開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



第 2 3 回 釧路開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	平成 2 9 年 7 月 1 9 日 (水) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 釧路地方合同庁舎 5 階 共用会議室
委 員	岸 徳光 (釧路工業高等専門学校 学校長) 草薙 敏夫 (釧路工業高等専門学校 副学校長) 白石 悟 (北海道科学大学 工学部都市環境学科 教授) 【委員長】 三上 修一 (北見工業大学 社会環境工学科 教授) 宗岡 寿美 (帯広畜産大学 地域環境工学分野 准教授) (五十音順)
議 事	<p>1 報 告</p> <p>(1) 総合評価落札方式のタイプ選定について</p> <p>(2) 施工能力評価型 I 型① (施工計画重視型を含む) の設問数及び配点の見直しについて</p> <p>(3) 平成 2 8 年度総合評価落札方式の実施状況 (H28. 10. 1~H29. 4. 30) について</p> <p>2 審 議</p> <p>(1) 平成 2 8 年度総合評価落札方式の実施結果について</p> <p style="margin-left: 20px;">①一般国道 4 4 号 釧路町 新別保大橋上部工事 (技術提案評価型 S 型・WTO (段階選抜))</p> <p style="margin-left: 20px;">②釧路港航路泊地浚渫工事 (技術提案評価型 S 型)</p> <p style="margin-left: 20px;">③別海北部地区 別配 1 3 - 1 用水路末端施設中春別工区外一連工事 (施工能力評価型 (I 型) 「施工計画重視型」)</p> <p>(2) 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について</p> <p style="margin-left: 20px;">①釧路川地震津波対策検討業務 (標準プロポーザル)</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意 見・質 問	回 答
<p>【1 報 告】</p> <p>(1) 総合評価落札方式のタイプ選定について</p> <p>(2) 施工能力評価型 I 型① (施工計画重視型を含む) の設問数及び配点の見直しについて</p> <p>(3) 平成 2 8 年度総合評価落札方式の実施状況 (H28. 10. 1~H29. 4. 30) について</p> <p>【2 審 議】</p> <p>(1) 平成 2 8 年度総合評価落札方式の実施結果について</p> <p style="margin-left: 20px;">①一般国道 4 4 号 釧路町 新別保大橋上部工事 (技術提案評価型 S 型・WTO (段階選抜))</p> <p>・桁端部の防食に関するテーマに対し各社それぞれが案件をしている中で、落札者以外からの提案と比較して、落札者の提案が工事の中で問題となる事象は生じていないか。</p> <p>・工事規模から、大手の社が入札参加していると思われるが、評価点で点数差が見られるのは如何に。</p>	<p>※特になし</p> <p>※特になし</p> <p>※特になし</p> <p>・現在は桁の工場製作中ではありますが、技術調整会議の中では、特段の問題となる事象は発生しておりません。</p> <p>・技術的には各社とも十分なものを持ちあわせていると認識しています。各社で提案内容をいかに発注者側に伝える記載ができていないか、表現する技</p>

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・桁端部の防食に対する提案で、防食範囲の拡大について評価しているが、それを評価した理由は如何に。 ・この工事はWTO工事として、公告文の末尾に英語での公告が数行で明示されており、その記載内容はスケジュール、問合せ先となっている。全国的にも、このような公告事例、記載が一般的となっているか。 <p style="text-align: center;">②釧路港航路泊地浚渫工事（技術提案評価型 S型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浚渫後の残土は、有効利用又は活用を考えているか。 ・入札説明書に、i-Construction工事として受注者と協議の上試行することがあるとしているが、この事項は評価点に関係はしてこないか。 ・i-Construction工事の取り組み状況は如何に。 ・1社が低入札で入札無効となっているが、調査基準価格と僅差での状態であったのか。 <p style="text-align: center;">③別海北部地区 別配13-1用水路末端施設中春別工区外一連工事（一般競争入札・施工能力評価型（I型）「施工計画重視型」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高いが、その要因として加算点が大きいため、入札額が他社よりも高くても総合評価点で1位となり、結果として落札率が上がったということか。 ・同種性が認められる工種として鉄筋コンクリート構造物を選定しているが、対象としている工事では、RC構造物とPC構造物の両方があるにも係わらず、RC構造物の実績のみを入札参加条件とした理由は如何に。 	<p>量の差と考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの各橋梁の点検結果等から、橋梁の端部は腐食が発生しやすい場所となっており、防食範囲を大きくすることは有効な手段と判断しております。 ・入札説明書、入札公告は、国土交通省の標準様式で実施しております。 <ul style="list-style-type: none"> ・浚渫土は土砂処分用地に捨て込んでいますが、将来的な計画としては、港湾用地、岸壁として活用されます。全国的にも、浚渫と埋立てはセットで実施している状況です。 ・工事受注後に受注者から、i-Construction工事の実施について申し出があった場合は、必要経費を設計変更で計上し、対応することになります。総合評価の対象にはなっておりません。 ・北海道でも試行を進めている状況です。 ・最近の低入札になる場合の傾向としては、経費を切り詰めすぎて、調査基準価格を僅かに下回ってしまう事例が多いです。 <ul style="list-style-type: none"> ・加算点、評価点が優位での落札結果と解釈しております。なお、資材購入が多い工事にあつては、全般的に落札率が高くなる傾向もあります。 ・一括審査工事として、3件の工事で共通する構造物が鉄筋コンクリート構造物であり、同種性のある工種として貯留機能を有する鉄筋構造物としたものです。

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
<p>(2) 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式および総合評価落札方式の実施結果について</p> <p>① 釧路川地震津波対策検討業務（標準プロポーザル）</p> <p>・ 解析にあたっての前提条件はどうなっているか。</p> <p>【上記、工事・業務について適切な評価と認める。】</p>	<p>・ 通常、堤防の耐震性を検討する場合は、地震発生時の水位を基に地震動により堤防に崩れが生じ、その状態で越水しなければ、その後に応急対策又は復旧を行えば良いと考えております。更に今回は、地震発生時の津波に対しても、極力崩れない対策を検討することとしております。いかに崩れないで耐震対策ができないかを検討しています。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>